

事業番号	02 01 01	事業改善シート（令和3年度実施事業分） <input type="checkbox"/> 当初要求 <input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検			
事業名	計画行政費	部局	企画振興部	課・室	総合政策課
		実施期間	H25 ～	E-mail	seisaku@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	全目標				
総合的に展開する重点政策					

1 現状と課題

目指す姿 これまでの取組	【目指す姿】 くしあわせ信州創造プラン2.0 しあわせ信州創造プラン2.0の3年目であり、計画の着実な推進が必要。また、プラン2.0をSDGsの達成をめざす行動計画と位置付けており、SDGsの普及・推進が必要。 『確かな暮らしが営まれる美しい信州』の実現(2022年度) ・労働生産性(2020年度):7,860千円/人 ・県民一人当たり家計可処分所得(2020年度):2,775千円 ・社会増減(2022年):社会増 ・観光消費額(2022年):8,100億円 ・合計特殊出生率(2022年):1.76 ・就業率(2022年):61.5% ・健康寿命:全国1位 ・再生可能エネルギー自給率(2020年度):12.9%	
	【これまでの取組】 ・政策評価を実施し、PDCAサイクルを回すことによるプラン2.0の着実な推進 ・SDGsに取り組む機運の醸成と取組の推進 など	
令和2年度 点検結果 現状分析	課 題	今後の方向性
	プラン2.0の重点目標の中には、目標達成に向けて進捗が十分でないものがあり、プラン2.0の目指す姿の実現までは道半ば。 SDGsの県民認知度は15.4%（2020.6 民間調査）であり、SDGsのさらなる普及促進が必要。	政策評価を実施し、PDCAサイクルを回すことで、プラン2.0の着実な推進を図る。 フォーラム等のイベント開催を契機として、SNS等を活用したSDGsの普及や、SDGs達成に向けた具体的な取組を促進する。

2 令和3年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	✓ 政策評価の実施 (R3.9公表予定) 政策の総合的達成度を把握するとともに、部局の枠をこえた視点で政策の分析・検証を行い、成果や改善点を明らかにするため、8つの「重点目標」を単位に評価を実施する。	
	✓ 県民のSDGs達成に取り組む機運の醸成 フォーラム等の開催のほか、ポータルサイト、SNSを活用したSDGsの普及啓発を実施する。	
	✓ データを活用した政策形成の推進 客観的な証拠に基づく政策形成を推進するため、データを効果的に活用した現状の把握や要因の分析等を実施する。	

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						区分(単位:千円)					
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末(見込)	R3年度目標値	事業 コスト	前年度繰越	R1年度	R2年度	R3年度	
1	労働生産性(千円/人)	7,340 (2015年度)	7,276↓ (2016年度)	7,412↑ (2017年度)	増加		予算額	当初予算	12,764	26,127	要求 27,748 予算案 26,367
2	県民一人当たり家計可処分所得(千円/人)	2,436 (2015年度)	2,461↑ (2016年度)	2,508↑ (2017年度)	増加			補正予算	0	-696	
3	社会増減(人)	▲739 (2017年)	▲956↓ (2018年)	▲2,088↓ (2019年)	増加		合計(A)		12,764	25,431	要求 27,748 予算案 26,367
4	観光消費額(億円)	7,093 (2017年)	8,146↑ (2018年)	8,769↑ (2019年)	8,100以上			うち一般財源	12,764	25,431	要求 27,688 予算案 26,307
5	合計特殊出生率	1.56 (2017年)	1.57↑ (2018年)	1.57→ (2019年)	上昇		決算額(B)		7,997		
6	就業率(%)	61.5 (2017年)	62.5↑ (2018年)	62.9↑ (2019年)	61.5以上			職員数(人)	6.0	6.0	6.0
7	健康寿命(歳)	男性 80.55 (2016年) 女性 84.60 (2016年)	80.7↑ (2017年)	81.0↑ (2018年)	全国1位						
8	再生可能エネルギー自給率(%)	8.0 (2015年)	8.2↑ (2016年)	8.7↑ (2017年)	上昇						
成果指標設定理由	この事業費は「しあわせ信州創造プラン2.0」の進捗状況を分析・評価するための経費であることから、プラン2.0で設定した8つの重点目標を指標とする。										

予算要求からの主な変更点	データ活用による政策形成推進事業について、事業内容を精査し、データ分析等の委託料を減額
--------------	---

事業番号 02 01 01 事業改善シート（令和3年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	計画行政費	部局	企画振興部	課・室	総合政策課
-----	-------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
1	計画行政費	12,764 千円	26,127 千円	要求 27,748 予算案 26,367 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	長野県総合計画審議会の開催	直接	長野県の総合的な発展に関する重要事項について調査審議するため、審議会を開催し、政策評価等の審議を行う。
2	信州SDGsの推進	直接	SDGsの普及啓発のため、フォーラム等の開催のほか、ポータルサイトの運営、SNSの発信等を行う。
3	チャレンジプロジェクトの政策構築	直接	部局横断的な取組体制の構築と、有識者からの意見聴取や先進事例視察等を実施する。
4	データ活用による政策形成の推進	委託	統計データ等の客観的な証拠に基づく政策形成を推進するため、データを効果的に活用した本県の現状の把握とその要因の分析、職員のスキルアップのための取組等を実施する。